

東北運輸局山形運輸支局長 殿

貨物軽自動車運送事業経営届出書

今般、貨物軽自動車運送事業を經營したいので、貨物自動車運送事業法第36条及び同法施行規則第33条の規定により、関係書類を添えて届出いたします。

車両の使用者名にする氏名又は法人名を記載

氏名又は名称並びに代表者の氏名及び住所(主たる事業所)				令和 〇年 〇月 〇日			
ふりがな	やまがた たろう						
氏名又は名称 (主たる事業所の名称)	山形 太郎			(通称名・)			
代表者氏名	同上			住民票上の住所 又は法人の登記簿上の本社住所を記載			
住所 (主たる事業所の位置)	山形県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地						
電話番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇						
メールアドレス	~~~~~ @ ~~~~~						
事業計画の内容 (住所と同じ場合は、□欄にチェックを入れる)							
営業所の名称及び位置							
営業所名	本店			位置 〇〇市〇〇町〇丁目〇番地			
☒ 住所に同じ							
事業用自動車の種別ごとの数							
	車両数	乗車定員		車両数	乗車定員		車両数
軽(普通)	1両	2名	軽(霊柩)	2両	2名	二	2名
自動車車庫の位置及び収容能力							
位置 〇〇市〇〇町〇丁目〇番地				営業所からの距離		収容能力	
☒ 住所に同じ				0m		8㎡	
乗務員の休憩又は睡眠のための施設の位置及び収容能力							
位置 〇〇市〇〇町〇丁目〇番地				収容能力		〇㎡	
☒ 住所に同じ				〇㎡			
運送約款 (該当する□欄にチェックを入れる)							
☒ 標準貨物軽自動車運送約款(平成15年国土交通省告示第171号)							
☐ 標準貨物軽自動車引越運送約款(平成15年国土交通省告示第172号)							
☐ その他運送約款							

収容能力の概算
1畳 * 1.62㎡

貨物軽自動車運送安全管理者選任状況(上記営業所分)

安全管理者選任予定者の氏名	山形 太郎	研修受講状況	R〇年 〇月 〇日受講修了 ☒ 済み・予定
---------------	-------	--------	---

東北運輸局山形運輸支局長 殿

宣

- ☒ 届出にかかる自動車車庫については、私に使用権原を有することを宣言します。
- ☒ 届出にかかる自動車車庫の土地・建物は、都市計画区域内にあり、かつ、その用途が貨物運送事業に適合することを宣言します。
- ☒ 貨物の運送に関し支払うことのある損害賠償の支払い能力を有することを宣誓します。
- ☒ 安全管理者は事業開始日までに選任し、選任後は速やかに選任届を提出すること。選任前には運送業務を行わないことを宣誓します。

令和 〇年 〇月 〇日

住所
氏名
(名称)山形県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇番地
山形 太郎

講習修了済でしたら、修了日を記載し、「済み」に○
未修了でしたら、予定日を記載し、「予定」に○
講習を修了し、選任届出を出してから事業開始となります。

貨物軽自動車運送事業の経営届出様式を使用した場合の記入要領

1. 届出日の欄
経営届出書を運輸支局に提出する日を記入してください。
2. 開始予定日の欄
事業を始める日を記入してください。
3. 氏名又は名称(主たる事務所の名称)の欄
(1)個人名義で事業を行う場合は、氏名を記入してください。(記入例:〇〇 一郎)
(2)法人名義で事業を行う場合は、会社の正式名称を記入してください。(記入例:株式会社 〇〇運送)
(3)事業経営上、通称名を使用する場合は、(通称名:)の欄に、その名称を記入してください。(記入例: 〇〇 運送)
4. 代表者氏名の欄
法人名義で事業を行う場合は、代表者の氏名を記入してください。(記入例:代表取締役 〇〇 一郎)
5. 住所(主たる事務所の位置)の欄
(1)個人名義で事業を行う場合は、その方の住所を記入してください。
(2)法人名義で事業を行う場合は、会社の本社所在地を記入してください。
6. 電話番号の欄
連絡先となる電話番号を記入してください。
7. 営業所の名称及び位置
(1)営業所名の欄
事業用自動車を配置する営業所の名称を記入してください。
(記入例)
・個人名義で1両で事業を行う場合には、自宅が営業所ということが考えられますので、その場合には、本店或いは〇〇運送といった記入が考えられます。
・法人名義で事業を行う場合には、会社で決めた名称を記入してください。
(2)位置の欄
当該営業所の住所を記入してください。なお、住所と同じ場合は、「□住所に同じ」のところの□にレ点し、住所の記入を省略して結構です。
(3)営業所が複数有る場合の記入等方法
2ヶ所目以降の営業所については、別に定めた補助用紙の所定欄に同様の記入方法で記入してください。
8. 事業用自動車の種別ごとの数
(1)営業所ごとの事業用自動車の種別ごとの数を、該当する欄に記入してください。
注)種別のうち、
・軽(普通)とは、軽自動車で霊枢及び二輪以外の自動車のことです。
・軽(霊枢)とは、軽自動車で霊枢自動車のことです。
・二輪とは、二輪バイクで125CCを超える排気量のものです。
(2)営業所が複数有る場合の営業所ごとの記入方法
2ヶ所目以降の営業所分については、別に定めた補助用紙の所定欄に同様の記入方法で記入してください。
9. 自動車車庫の位置及び収容能力
(1)位置の欄
事業用自動車の車庫の住所を記入してください。なお、住所と同じ場合は、「□住所に同じ」のところの□にレ点し、住所の記入を省略して結構です。
(2)収容能力の欄
車庫の面積を記入してください。
(3)営業所が複数有る場合の営業所ごとの記入等方法
2ヶ所目以降の営業所分については、別に定めた補助用紙の所定欄に同様の記入方法で記入してください。
10. 乗務員の休憩又は睡眠のための施設の位置及び収容能力
「9. 自動車車庫の位置及び収容能力」に準じて記入してください。
11. 標準運送約款と同一の運送約款を定めるかどうかの別
(1)標準貨物軽自動車運送約款、標準貨物軽自動車引越運送約を使用する場合には、該当する運送約款の□にレ点してください。
(2)標準運送約款以外の運送約款を使用する場合は、「その他運送約款」の□にレ点してください。なお、この場合は、当該運送約款を添付することが必要となります。
12. 貨物軽自動車運送安全管理者選任状況
(1)安全管理者として選任する予定の者の氏名及び安全講習の受講状況を記載してください。
なお、自社で選任している運行管理者を安全管理者とする場合には、氏名欄に氏名の他、()書きで「●●営業所 運行管理者」と記載してください。
(2)「研修受講状況」が「予定」の場合、受講申し込み済みであることが確認できる書面等(電磁的書面でも可)を提示してください。
13. 宣誓書
自動車車庫について使用権原があることが確実であること、及び、車庫の土地・建物が都市計画法等(農地法、建築基準法、車両制限令等)の関係法令に抵触していないこと、貨物の運送に関し支払うことのある損害賠償の支払い能力を有することが確実であること、並びに、確実に安全管理者を選任し、必要な届出及び選任前には運送事業を行わないことを宣誓し、日付の欄に届出日と同様の日付を記載し、住所及び氏名の欄に届出人の住所、及び、氏名又は名称を記入してください。なお、宣誓書の記入がない場合は、届出内容が補正されてから受理します。